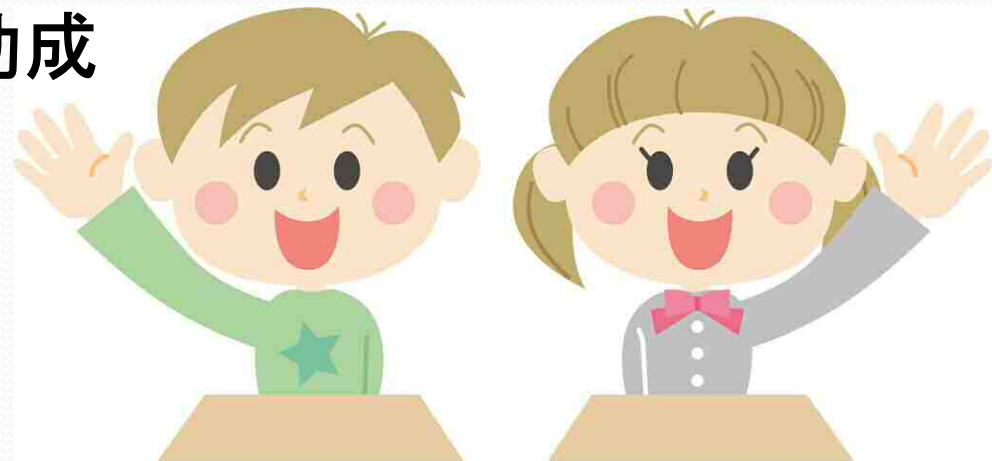


1. 現在実施されている保護者負担軽減策

- (1) スクールライフサポート（就学援助）
- (2) 新入学児童・生徒に係る教材費の公費負担
- (3) 子どもの保険
- (4) 野外教育活動費の公費負担
- (5) 部活動費の充実
- (6) 学童保育保護者負担軽減
- (7) 子ども医療費の助成



1.現在実施されている保護者負担軽減策

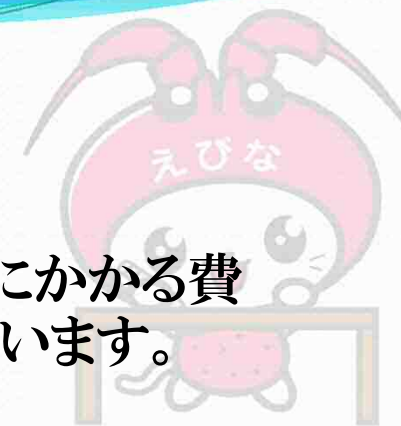
(1)スクールライフサポート(就学援助)

【制度概要】

経済的な支援を必要としている保護者に対し、学校生活にかかる費用負担を軽減するために学用品費や給食費等の援助を行います。

【支給費目・支給額】

支給費目	支給額			
	小学校		中学校	
学用品費	1年	1,420円	1年	5,320円
	2年～6年	11,420円	2年・3年	22,320円
通学用品費	2年～6年	2,230円	2年・3年	2,230円
新入学児童生徒学用品費等	1年	32,480円	1年	37,920円
	6年	37,920円		
校外活動費(宿泊なし)	全学年	1,570円	全学年	2,230円
校外活動費(宿泊あり)	全学年	3,620円	全学年	6,100円
修学旅行費	6年	21,490円	3年	57,590円
学校給食費	全学年	実費分	全学年	実費分



1.現在実施されている保護者負担軽減策

(1)スクールライフサポート(就学援助)

【さらなる保護者負担軽減に向けての改善】

- 対象範囲の拡大(認定基準の緩和)
生活保護基準の1.2倍 ⇒ 1.4倍
- 新入学用品費の早期支給



	これまで	平成28年度～ (小学校は今年度から)
小学1年生	7月中旬	4月下旬
中学1年生	7月中旬	小学校6年生時の1月下旬

- 新入学用品費の支給額の増額

	変更前	変更後
小学1年生	20,470円	32,480円
中学1年生	23,550円	37,920円

1.現在実施されている保護者負担軽減策

(2)新入学児童・生徒に係る教材費の公費負担

小中学校の入学にかかる費用が増大になるため、児童・生徒の保護者に請求する教材費(ワークブック、ドリル、テスト、実験キット等)を市が助成しました。

【対象者】

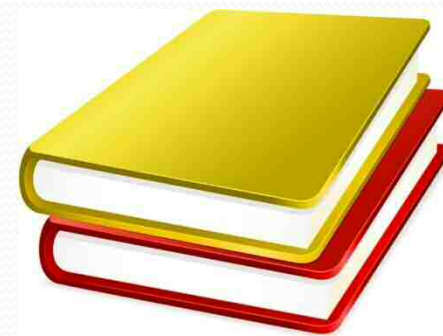
- ・市内の公立小中学校へ通う児童・生徒の1年生の保護者
- ・私立学校や県立学校へ通う児童・生徒の1年生の保護者

○小学校1年生一人当たり上限 10,000円

○中学校1年生一人当たり上限 17,000円

【平成28年度実績】

	小学校	中学校
公立	1,185人	1,176人
私立等	5人	74人



公費負担額合計 32,634,693円
【平成28年度実績】

1.現在実施されている保護者負担軽減策

(3)子どもの保険

①小中学生安全安心サポート 【平成29年度から】

学校管理下(登下校含む)において児童・生徒が個人責任を負うような場合に備えて、損害賠償保険に加入しました。

【保険内容】 1事故、対人対物1億円。

【対象者数】 小学生・・・7,223人
中学生・・・3,530人

公費負担額合計 1,831,310円 【平成29年度実績】

②スポーツ振興センター保険料公費負担

公費負担額合計 10,116,260円 【平成28年度実績】



1.現在実施されている保護者負担軽減策

(3)子どもの保険

③中学3年生入試・就職試験用保険

市内公立中学の3年生に対し

現在加入している保険が入学試験や就職試験について、学校管理下と認められないため、この保険に加入しました。

【保険内容】

損害保険・・・1事故、対人対物 1,000万円

傷害保険・・・傷害により死亡・後遺障害最高 1,000万円

傷害による入院日額 5,000円

傷害による通院日額 3,000円

【対象者数】1,210人分

公費負担額合計 353,010円 【平成28年度実績】



1.現在実施されている保護者負担軽減策

(4) 野外教育活動費の公費負担

小学校は活動費の全額を公費で負担、
中学校は食費を除き公費負担とし、
保護者の負担軽減を図りました。



- 小学校は全校が御殿場「東山荘」を利用しました。
概ね一人あたりの負担金は13,200円交付しました。
- 中学校は県立施設や民間施設を活用し目的にあった活動を実施しました。
概ね一人あたり7,500円から17,000円程度を
保護者に対し、交付しました。



公費負担額合計
28,483,012円 【平成28年度実績】

1.現在実施されている保護者負担軽減策

(5)部活動費の充実

- 生徒の心身の発達に重要な役割を担う、部活動の充実を図りました。
- 部活動への交付金・補助金を給付し、部活動の充実と保護者の負担軽減を図りました。

【各校への交付金】

8,890,000円

【予選を経た県大会以上への派遣補助】

837,570円

公費負担額合計 9,727,570円 【平成28年度実績】



1.現在実施されている保護者負担軽減策

(6)学童保育保護者負担軽減

- ・就学援助の認定を受けた世帯に対し保育料(上限12,000円/月)補助しました。

【平成28年度実績】

- ・ 補助対象者 101件
- ・ 公費負担額合計 11,204,412円



(7)子ども医療費の助成

- ・病気やけがで医療機関を受診した場合の保険診療分について、自己負担分を市が助成しました。

【対 象】： 0歳～中学校修了前までの市内在住のお子さん
入院・通院とも助成。 所得制限はありません

【平成27年度実績】 小学生1人平均 27,216円の助成
中学生1人平均 21,123円の助成